

人間と思想

哲学入門

《担当者名》森元 良太 (リハ)

【概要】

現代の英米哲学の諸問題を正しく理解し、自然科学に関する哲学的問題へのさまざまなアプローチを学ぶ。まずは、哲学とはどのような学問であるかを理解し、哲学をするための論理的な思考法を習得する。次に、科学の諸特徴を学ぶことで、科学の本性を理解する。最後に、自然科学に関する哲学的問題を学ぶ。ニュートン力学と進化論を中心に、それらの理論が描く世界観を把握する。討論の形もとり、一方的に知を吸収するだけではなく、批判的思考法も習得する。

【学修目標】

現代に生きる私たちの思考の枠組みを理解するため、古代から現代までの哲学の流れを学ぶ。
現代哲学の諸問題とその解決策を検討することにより、哲学の論理的思考法を習得する。
いまの私たち常識の起源を探るために、アリストテレスの世界観を知る。
アリストテレスの世界観と近代以降の世界観を比較することで、現代の思考の枠組みを理解する。物質についてはニュートン力学の世界観、生命についてはダーウィン進化論の世界観を学ぶ。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	哲学について	哲学の諸問題や特徴の理解を通じて、哲学という学問分野を概観する。	森元 良太
2	哲学について	哲学の道具としての推論を学ぶ。演繹論理、帰納論理、アブダクションの特徴を学習する。	森元 良太
3	哲学小史	哲学史を学ぶ。古代ギリシアから現代までの哲学の枠組み、およびその変化を理解し、現代に生きる私たちの思考の枠組みを知る。	森元 良太
4	哲学小史	近代から現代に至る言語論的転回について学び、現代哲学の基本事項を身につける。	森元 良太
5	論理的思考	アリストテレスの論理学を学ぶとともに、古典論理学の問題点を理解する。また、フレーゲ以降の現代論理学の基本事項を身につける。	森元 良太
6	論理的思考	科学的知識の本性を理解するため、知識の特徴づけを学ぶ。知識の哲学に関する基本的な議論に触れ、知識の正当化に経験が重要であることを理解する。	森元 良太
7	科学とは何か	科学の本性を理解するため、科学的説明の特徴について検討する。とくに、科学的思考における演繹論理と帰納論理の問題点を学ぶ。	森元 良太
8	科学とは何か	帰納論理の問題点を理解する。反証可能性という科学の基準について検討する。	森元 良太
9	科学とは何か	近年科学で注目を集めているベイズ主義の考えを学び、帰納論理の問題点の克服を理解する。	森元 良太
10	アリストテレスの世界観	アリストテレスの4原因説を学び、現代の枠組みとの違いを検討する。	森元 良太
11	アリストテレスの世界観	アリストテレスの世界観とその問題点を理解する。とくに、正常と異常の区別、およびその区別の変遷を学ぶ。	森元 良太
12	ニュートン力学の世界観	ニュートンによる物理学の内容と方法論の革新を学び、ニュートンが近代以降の科学に与えた影響を理解する。	森元 良太
13	ニュートン力学の世界観	ニュートン力学にもとづく決定論的世界観を確認し、その世界観と確率概念の関係を検討する。	森元 良太
14	ダーウィン進化論の世界観	ダーウィンによる生物学の内容と方法論の革新を学び、ダーウィンの独創性を理解する。	森元 良太

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
15	ダーウィン進化論の世界観	ダーウィンによる進化論的世界観を理解し、その世界観と確率概念との関係を検討する。	森元 良太

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

期末レポート100%で評価する。レポートは授業中に明示するルーブリック評価表にもとづいて評価する。なお、ルーブリック評価については授業中に解説する。

【教科書】

教科書は使用しない。講義資料はGoogle Classroomを利用して配布する。

【参考書】

アレックス・ローゼンバーグ 著 「科学哲学」 春秋社 2011年

【備考】

1. 講義資料の配信、学修課題の提示
 - ・講義資料はGoogle Classroomを利用して配布する。
 - ・学習課題はGoogle Classroomを利用して提示する。
2. 講義に関する学生間、および教員とのディスカッションの実践
 - ・Google Classroomを利用して、学生相互の意見交換、および学生と教員間のディスカッションをおこなう。
3. 授業時間中にその場で学生の理解度を把握する技術の活用
 - ・Google Formを利用し、毎回小テストを実施し、学生の理解度を把握する。

【学修の準備】

授業では知識を提供することが多くなるが、哲学は自分自身で考えることが重要な学問である。哲学者の議論を自分で再構成することは、論理的思考法を習得するにも効果的である。そのため、授業後にしっかり復習をすること（80分）。また、次回までに授業で紹介した議論に批判を加え、さらに自分で議論を用意してくること（80分）。授業中に小レポートなどで意見を求め、ディスカッションすることがある。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

DP2：豊かな人間性・自立性・創造性・協調性等を身につけている。
DP1：心身の健康を保持し学修を継続できる基本的態度と知識・技能を身につけている。
上記、心理科学部ディプロマ・ポリシーに適合している。